早再設工第３７号
令和６年３月 21 日

歩掛参考見積募集要領

有資格業者　各位

独立行政法人水資源機構
池田総合管理所長　岩本　浩

次のとおり、早明浦ダム再生事業水質予測影響評価業務（仮称）の歩掛参考見積を募集します。

令和６年３月 21 日

１．目　的

この歩掛参考見積の募集は、池田総合管理所で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

なお、この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

２．参考見積書提出の資格

（１）水資源機構における令和５・６年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。

（２）営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。

（３）水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成６年５月 31 日付け６経契第 443 号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

３．参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

（１）参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者の人数等を記載して提出して下さい。

（２）提出期間：令和６年４月 10 日（水）　から令和６年４月 15 日（月）　まで
ご持参いただく場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前９時から午後４時まで

（３）提出先及び宛名

独立行政法人水資源機構　池田総合管理所長　岩本　浩　宛

【担当】総務課　石川（イシカワ）、丸山（マルヤマ）

〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻 4235-1

電話：0883-72-2050　ＦＡＸ：0883-72-0727

メールアドレス：JWA_ikeda@water.go.jp

（４）提出方法

書面は持参、郵送、ＦＡＸまたはメールのいずれかの方法によりご提出ください（いずれも印影のあるものに限る）。

（５）見積有効期限

令和７年３月 31 日までとし、必ず記載してください。

（６）提出様式

様式は自由としますが、別紙１を参考に以下の内容を必ず記載してください。

・文書番号（早再設工第３７号）

・宛名（独立行政法人水資源機構　池田総合管理所長　岩本浩）

・提出者名（代表者　又は　代表者から委任を受けた者）と押印

・提出日

・見積有効期限

４．参考見積内容

（１）業務基本条件

本業務は、貯水池水質予測モデル及び河川水質予測モデルを用いて早明浦ダム再生事業完了後の早明浦ダムの貯水池の水質及び放流後の吉野川の水質予測を行うことを目的とする。

（２）業務作業項目、作業内容

別添資料１のとおりとします。また、別添資料２は参考資料です。

（３）業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

①　本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

②　歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（２）「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な技術者の人数等を徴取します。

（４）技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和６年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

（５）見積条件

見積価格は、消費税抜きとしてください。また、見積書に消費税を含んでいない旨を記載してください。

５．募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面により提出してください。

（１）提出期間：令和６年３月 22 日（金）　から令和６年３月 29 日（金）　まで

持参する場合は、上記期間の土曜日及び日曜日を除く毎日、午前９時から午後４時まで

（２） 提出場所：３．（３）に同じ。

（３） 提出方法：３．（４）に同じ。

（４） 提出様式：様式は自由としますが、別紙２を参考に以下の事項を必ず記載してください。

・文書番号（早再設工第３７号）

・宛名（独立行政法人水資源機構　池田総合管理所長　岩本浩）

・提出者名（代表者　又は　代表者から委任を受けた者）と押印

・提出日

・質問事項

６．質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

（１） 閲覧期間：令和６年４月９日（火） から令和６年４月 15 日（月） まで

（２） 閲覧方法：池田総合管理所ホームページの新着情報に掲載します。

池田総合管理所ホームページ（https://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/index.html）

７．参考見積書作成及び提出に要する費用

恐れ入りますが、参考見積提出者のご負担とさせて頂きます 。

８．問い合わせ

ご提出いただいた参考見積書の内容について、こちらより問い合わせをさせて頂くことがあります。

別紙１＜見積書参考様式＞（例）
※様式は自由となりますが、以下の例に記載する事項は必ず記載をお願いいたします。

令和　　年　　月　　日

独立行政法人水資源機構分任契約職
　池田総合管理所長　岩本　浩　　殿

住　　所
会　　社　　名
代 表 者 氏 名　　印

見　　積　　書

（件　名）早再設工第３７号にかかる参考見積案件

見積項目	見積内容	見積数量

見積有効期限：令和７年３月 31 日

別紙２＜質問様式例＞（例）

令和　　年　　月　　日

独立行政法人水資源機構分任契約職
　池田総合管理所長　岩本　浩　　殿

住　　所
会　　社　　名
代 表 者 氏 名　　印

質　　問　　書

（件　名）早再設工第３７号にかかる参考見積案件

番号	質　　問　　事　　項
①	～～～～～～～～～～～。 ～～～～～～～～～～～。
②	～～～～～～～～～～～。
③	～～～～～～～～～～～。

注）１．質問事項ごとに番号を付するものとする。
　　２．質問は代表者及び代表者から委任状により委任を受けた者が行うものとする。
　　３．持参・郵送で質問事項が２ページ以上に及ぶ場合、袋とじの上、割り印を行うものとする。

※本様式は、水資源機構本社 HP の以下に掲載しています。
https://www.water.go.jp/honsya/honsya/keiyaku/service/ukeoi/kouji/kouji.html
（ホーム → 入札・契約情報 → 様式提供サービス → 請負契約等において使用する様式 → 建設工事に係る様式 → 番号１０）

業務内容

第１節　業務目的

本業務は、貯水池水質予測モデル及び河川水質予測モデル（以下、「水質予測モデル」という。）を用いて早明浦ダム再生事業完了後(以下「再生事業後」という)の早明浦ダムの貯水池の水質及び放流後の吉野川の水質予測を行うことを目的とする。

第２節　計画準備

業務内容を十分理解し、的確な業務が実施できるよう業務計画書を作成し、調査職員に提出するものとする。

第３節　水質予測シミュレーション

受注者は、既存の流量観測資料、水質調査資料を基に早明浦ダム貯水池及びダム下流河川を対象とした水質予測モデルにより、再生事業後の放流による影響を検討する。

３－１　水質予測モデル

１．データ整理

水質予測モデルの入力条件（LQ式、水収支等）を設定するため、以下のデータを整理する。整理期間は、原則として早明浦ダムの管理開始から令和5年までとする。

なお、管理開始から平成30年までについては、貸与資料で整理している。

項目	整理内容
気象	整理項目：気温、湿度、風向、風速、日射量、雲量 基本は早明浦ダム管理所の観測結果を用いるが、雲量及び欠測値は、管区内の気象台データから設定、補完
水文	早明浦ダムの貯水位、流入量、放流量
水質保全設備及び取水施設の運用状況	選択取水設備及び利水放流管運用状況
水質（流入河川、貯水池、下流河川）	水温、濁度、SS、粒度分布

２．水質予測モデル

水質予測モデルの予測対象項目は水温、SS、濁度とし、貸与資料の既往成果と同程度以上の精度を確保するものとする。貯水池の地形データについては、貸与する最新のダム湖平面図及び堆砂測量結果を用いるものとする。入力条件は少なくとも1時間単位の変化を考慮できるモデルとする。また、ダム下流河川の対象範囲はダム直下から銅山川合流付近までを基本とし、詳細の条件は調査職員と協議により決定するものとする。

なお、既往成果のモデルでは、貯水池は縦断方向（200m）及び鉛直方向（１m）にブロック化した鉛直二次元水質予測モデル、下流河川は対象範囲の水収支及び流下過程における変化を考慮し、流下方向の水質変化を表現できるモデルである。

３．水質予測モデルの再現性確認

１．で整理したデータを基に検討対象期間の貯水池及び下流河川の現況再現を行い、水質予測モデルの再現性及び妥当性を提示し調査職員の確認を得るものとする。再現計算の期間は、近10ヵ年を基本とする。

３－２　水質予測及び影響評価

受注者は、次の水質予測シミュレーションの結果を基に、以下の項目について再生事業後に係る水質への影響を評価するものとする。

貯水池表層及び鉛直水質：水温、SS、濁度
放流水質　　：水温、SS、濁度
下流河川水質　　：水温、SS、濁度

１．既往観測データに基づく水質予測及び影響評価

再生事業後の放流による影響を把握するため、貯水池及び下流河川の水質を予測するものとする。水質予測の検討期間は、近10ヵ年を基本とする。予測にあたっては、別途検討している再生事業後の放流操作（予備放流方法及びゲート操作方法）について十分に理解した上で、水質予測に反映するものとし、影響評価は、近10ヵ年を再現した水質と予測した水質を比較し行うものとする。

なお、放流操作の内容については別途調査職員より指示するものとする。

２．貯水池運用計画に基づく水質予測及び影響評価

予備放流を実施する可能性が高い既往の出水に対して、予測の初期水位を洪水貯留準備水位とした場合の貯水池及び下流河川の水質を予測するものとし、影響評価を行うものとする。予測開始時の初期条件（水温等）については調査職員と協議するものとする。

第４節　再生事業後のモニタリング方法の検討

受注者は、第３節の結果を基に、既設観測計器の位置を踏まえ、再生事業後の放流による水質への影響を検証するためのモニタリング方法を検討するものとする。

第５節　水質予測結果説明資料作成

受注者は、機構が学識経験者等へ説明する際に必要となる資料を作成するものとする。この資料は、できる限りわかりやすいものとする。併せて、想定問答の作成を行うものとする。資料の構成など詳細については、別途、調査職員と協議するものとする。

第６節　報告書作成

上記の各項目についてとりまとめ報告書を作成するものとする。また、報告書の概要版を作成するものとする。

なお、水質モデルの入力条件についても提出するものとする。

第７節　貸与資料等

１．本業務の貸与資料は、次のとおりである。

（１）早明浦ダム再生事業における環境保全への取り組み（令和３年 12 月）
（２）早明浦ダム再生事業水質予測業務報告書（令和２年３月）
（３）早明浦ダム再生事業環境影響評価業務報告書（令和２年３月）
（４）早明浦ダム堆砂状況調査業務（令和６年３月完成予定）
（５）その他調査職員が必要と認めた資料

以　　上

資料2

歩掛参考見積内容

●下表の項目を実施するのに必要な人員を記載してください。
●業務実施にあたり、必要な作業日数を記載してください。

見積項目	数量		主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	作業日数※1	備考
計画準備	式	1									
水質予測モデル	式	1									資料1の第3節3-1の項目
水質予測及び影響評価	式	1									
既往データに基づく水質予測及び影響評価	式	1									
貯水池運用計画に基づく水質予測及び影響評価	出水	1									1出水あたりの歩掛 (全部で10～30出水程度の波形について想定)
再生事業後のモニタリング方法の検討	式	1									
水質予測結果説明資料作成	式	1									
報告書作成	式	1									
合計											

※1　作業日数については、各見積項目を実施するうえで、必要な作業日数（不稼働日を見込まない実日数）を記載してください。
　　また、作業日数の合計については、各項目の作業ラップ期間を考慮し、業務全体を実施するにあたり、
　　必要な日数（不稼働日を見込まない実日数）を記載してください。（例：当該業務実施に必要な期間は〇〇日間）
※2　記載例の技術者以外に作業員の計上が必要な場合は追加で備考欄へ記載願います。